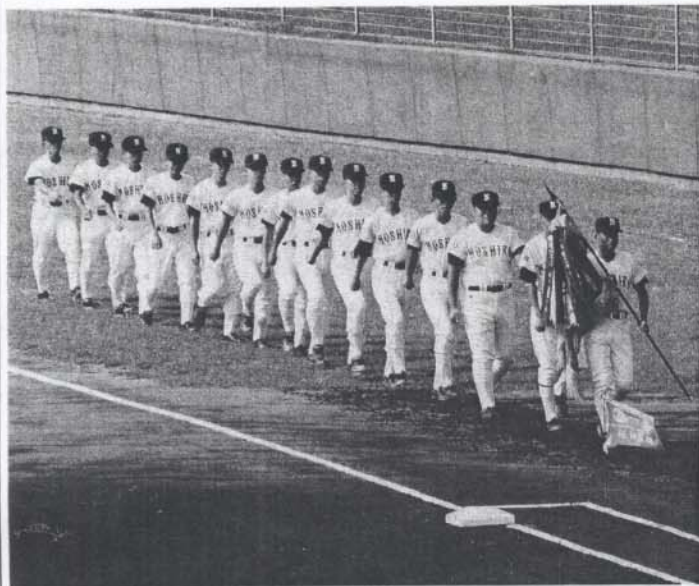


# 第74回全国高等学校野球選手権大会 出場報告

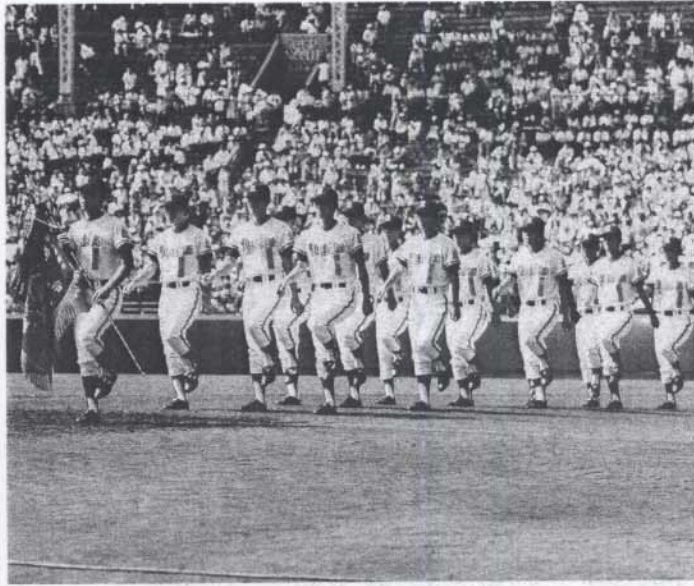
## 第37回全国高等学校軟式野球選手権大会



### 秋田県立能代高等学校



〈軟式野球部〉



〈硬式野球部〉

秋冷の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、本校硬式野球部が、昭和五三年以来十四年ぶり四回目の甲子園への出場を、また軟式野球部が、昭和六一年以来六年ぶり十回目の明石大会への出場を果たしました。この硬式・軟式両野球部が同時に全国大会に駒を進めましたのは、県内にはあまり例がなく、本校にとりまして初めての一大快挙であったと喜んでるところであります。この両部の全国大会への出場に際しましては、甲子園派遣委員会の献身的なご尽力と多くの皆様方の物心両面にわたる格別のご芳情とを賜り、本当にありがたく衷心より厚くお礼申し上げます。

本校は、校訓「至誠力行」のもと、「文武両道」を校是とする進学校であります。その本校が今年見事、燃えるような夏の花を咲かせることができましたのも、雄伏十四年と六年、全国大会をめざして努力した両野球部員はもとより、このこと、部長、監督、コーチ並びに種々ご指導いただいた



校長 椎名光雄

### お礼のことば

各位の並々なぬご精進と卓越した指導の成果でありました。また同窓生、ご父母、地域の皆様方の深いご理解と温かいご支援があったればこそでありました。ここに深甚なる敬意と謝意を表します。

硬式野球部は、初戦では佐賀東高校と対戦し、四対三で「巖をつんざく勢」で勝利を

学園と対戦し、武運つたなく七対〇で敗れましたが、選手たちは強豪を相手にひるむことなく最後まで戦い、松陵健児の意気をいかになく発揮した一戦でありました。軟式野球部は、初戦優勝を果たした四日市高校と対戦し、惜しくも四対二で敗れました。しかしながら、最後まで死力

晩秋の候、皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、この夏の能代高校硬式野球部の第七十四回全国高等学校野球選手権大会及び軟式野球部の第三十七回全国高等学校野球選手権大会への出場に際しましては多くの同窓生並びに県内外にわたる多数の皆様方をはじめ、市町村・各企業から物心両面にわたるご支援ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

この硬式両野球部のダブル出場は選手諸君・在校生諸君の誇りであることはもちろんですが、私共能代高校関係者にとっても両手に花の大きな喜びでありました。また、秋田県高校野球界にとっても、大きな足跡を残すことになったことと思



委員長 神馬恒成

### お礼のことば

する進学校であります。その本校が今年見事、燃えるような夏の花を咲かせることができましたのも、雄伏十四年と六年、全国大会をめざして努力した両野球部員はもとより、このこと、部長、監督、コーチ並びに種々ご指導いただいた

付の総額は決算書のとおり一億一千七百万円余にのぼり、本当に感謝致しております。その皆様方の心のもったお金は、「松陵健児」ここにあり、「健在」文武両道」を全国に示すべく、両部の選手、部員の派遣費並びに応援団員、吹奏楽

部員、新聞部員、写真部員そして一般応援生徒、延べ千二百名の応援費用として大切に使用させていただきました。なお、現金につきましては、次期派遣基金とするほか、部活動の充実等にも活用させていただきますこととしましたのでご理解賜りますようお願い致します。



私共能代高校関係者は能代高校に對する皆様の暖かい御声援に應えるために、これからも一層の努力を、してまいりますので、どうか今後とも引き続きご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。と御礼のことばと致します。

を尽くした精神力、全員一丸となつて戦う抜群のチームワークは、久しぶりに「軟式野球の名門校能代高校」の名声を全国に轟かせたものと存じます。

今年の夏は、本校にとってまさに燃えるような季節となりました。その炎は、今も絶えることなく、本校生徒一人一人の胸に燃え続け、能代高校の生徒であることをあらためて誇りとし、一層勉学に部活動に毎日励んでおります。

その成果を糧として、今後の本校教育の充実、発展に向けて、全職員より一層努力して参る所存でありますので、このことを皆様にお誓いし、広く県内外の方々の本校に対する一層のご支援を賜りますことをお願いいたします。お礼のことばといたします。



# 第37回全国高等学校軟式野球選手権大会報告



部長

銭谷雅昭



監督

京久夫

昨年夏、新チームのスタートに当たって期する事があった。前年秋の東北大会、春季県大会を制しながら夏の県大会初戦で敗れた時の悔し

さはとても言葉で表せなかった。「次こそ必ず明石へ行く」という強い意志を全員が持っていた。秋季県大会、東北大会では

二年連続優勝を果たした。東北大会決勝では澤田投手がノーヒットノーランを達成し、本番へ向けて大きな自信を醸成した。春を迎え、練習試合をしては課題を見つけ、その後の練習で調整していくことを繰り返した。個々の力はともかく、試合の中で状況判断や連携プレーにはまだまだ粗い面が見られた。春季県大会は三試合すべてを一点差でものにして優勝した。苦しみ抜いて勝ち取っただけに選手も精神的にたくましくなったよう

だ。六月中旬の強化合宿を経て迎えた夏の県大会、対秋田工業戦を七対一、対本荘高戦を三対一で勝ち、奥羽大会進出を決めた。七月三十一日より盛岡市の岩手県営球場で開催された奥

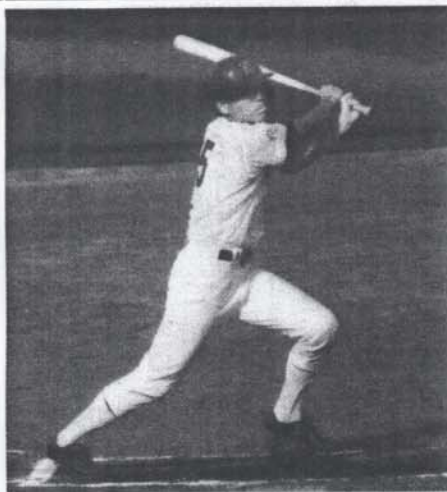
羽大会は、開会式直後の第一試合で盛岡商業と対戦し、澤田投手が十一個の三振を奪って二度目のノーヒットノーランを達成し、一対〇で勝利を取った。第二試合以降は雨のため翌日に延期された。優勝するためには二日間三試合を戦わねばならないこの大会で、図らずも有利な展開となった。準決勝の対盛岡一高戦、決勝の対秋田商業戦は緊迫した投手戦となったが、いずれもたつた一回のチャンスを得点に結びつけ、共に一対〇で勝利を取った。一点差の試合を何度も勝ってきた精神力が本番でも生きていた。全国大会優勝から十年、全国大会出場までかかって六年、念願の出場決定である。高校校史のその日の夜であったが、日曜日にもかかわらず大勢の方々が

部	監督	部長	一	二	三	遊	左	中	右	捕	補	補	補	補	補
銭	京	銭	塚	長	鎌	嶋	芳	小	北	工	小	高	小	高	山
谷	久	谷	本	岡	田	山	賀	原	野	林	藤	橋	大	智	内
昭	夫	昭	一	秀	靖	俊	宏	幸	良	幸	大	智	大	智	内
雅	久	昭	誠	一	男	成	徹	秋	作	昌	裕	大	智	大	内

## 選手名簿



明石球場前での記念写真



島山主将の一撃

が迎えにくれ、改めて大きな感動を味わった。全国大会は八月二十六日から兵庫県明石市、高砂市で開催された。二十三日に大阪空港に降り立った時にはその暑さに驚いた。分かれているつもりであったが、実際に感じた暑さは想像以上であった。二十四日の抽選会で北部九州代表の四日市高校との対戦が決まった。昨年、一昨年と準決勝に進出している強豪である。二十六日、予定より一時間以上遅れて試合が開始された。四日市高校はやはり動きが速く相当鍛えられたチームという印象である。澤田投手も好調で初回から全力投球で三回までに八個の三振を奪った。四回表に三本の長短打で二点を先制し、ベンチのムードは盛り上がった。しかし六回あたりから澤田に疲れが見えはじめ、七回には三点を取られ逆転を許した。更に八回にもランニングホームランで追加点を奪われ、二対四で試合は終わった。敗れはしたものの、選手達は十分に力を出し切り、後にこの大会を制したチームと互角に渡り合った好試合であったが、大会最後になりましたが、大会出場に際し協力していただいた父母の会、OB会、学校関係者の方々、並びにご声援いただいた多くの方々に深く感謝申し上げます。

## ◆第1回戦◆

能代	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
四日市	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	×	4

## 校友時報

明石だより FAX. 018554 2230 NO.5 新聞部

よく頑張ってくれた 椎名校長先生

満足している

整野球父母の会会長 島山靖男主将のお父さん 島山貞直さん

すばらしい選手たち

監督 京久夫先生

父母の会の沢山の皆さん、応援の生徒の皆さん、そして選手たちと、みんなでミニ米来りです。とても満足しています。来年もまたミニ米来りしてほしいですね。

でも、うれし涙を流させてやれなかったことがとても残念です。

やるだけやった

島山主将

▽やるだけやったので良かったと思っています。いい仲間に出会えてうれしい。

澤田投手

▽三年間やってきて、つらいこともありましたが、今日は自分なりに満足のいくピッチャーが出来ました。悔いはありません。

